

先端歯学国際教育研究ネットワーク 第 20 回先端歯学スクール 2025 に参加して



令和 7 年 8 月 29～30 日に九州大学で開催された「第 20 回先端歯学スクール 2025」に参加し、研究発表を行いました。

私はこれまで、味受容器である味蕾に関する研究に取り組んできました。私の研究発表課題名は「味蕾ターンオーバーにおける *Prox1* 遺伝子の機能」です。ホメオボックス型転写因子 *Prox1* に着目し、これまで明らかにされていなかった味蕾における機能について解析した結果を報告しました。

本スクールでは、全国の歯科大学および関連施設に所属する 13 名の大学院生によるハイレベルな研究発表が行われました。マウスを用いた組織解析や行動実験にとどまらず、培養細胞やオルガノイドを用いた解析、さらに近年主流となりつつある single cell RNA-seq 解析など、多面的かつ高度なアプローチによる研究結果が示され、いずれも非常に質の高い内容でした。質疑応答も活発に行われ、日頃接する機会の少ない分野の研究者からの指摘を受けることで、自身の研究への新たな視点を得ることができ、今後の研究活動に大きな刺激となりました。

また、教育講演として、九州大学の福本敏教授によるご講演があり、研究テーマの設定や研究に取り組む姿勢について、貴重な示唆をいただきました。

今回の参加を通して、他大学がこのような先進的な研究を展開していることを知り、大いに勉強になりました。同時に、我々もこれらのレベルに比肩し得よう、研究の質をさらに高めていく必要性を強く感じました。

日本の歯学研究において、優秀な若手研究者の育成に寄与してきた本スクールが、今後も継続して開催されることを心より祈念いたします。

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野
博士課程 4 年 萩元 綾